



第7回 文部科学省 I B 教育推進コンソーシアム 関係者協議会【作成：2020年2月6日】

事務局としての活動状況報告（2019年度）

1. 国際バカロレア教育の効果に関する調査研究業務

○IB普及に関するアンケート調査（事務局調査）

IB教育の効果と普及への諸課題把握のために、様々なステークホルダーへのアンケート等の実施

- 【2018年度】AC会員を対象にしたICTプラットフォームの活用ならびにIBに関する意識調査の実施（方法：アンケート調査 12月～2月）
- 【2019年度】デュアルランゲージ・ディプロマ・プログラムに関するアンケート調査（国際バカロレア1条校を対象にした調査 *参照：資料3

○大学のIB入試状況調査（事務局調査）

国内大学・海外主要大学のIB入試実施状況の調査

—国内のIBを活用した大学入試調査 *参照：補足資料1

—海外大学でのIB入試に関する情報の共有

*協力「トモノカイ」による情報提供

○その他、IB普及・促進に寄与する研究の奨励 *右図・フライヤー

*IBに関する研究セミナーの実施（10月26日・国際バカロレア教育シンポジウムにて）

—テーマ：国際バカロレア教育の効果に関する調査研究について（IB学会との連携）

*2月23日の「国際バカロレアフォーラム」にて最終報告予定

*IBに関する研究セミナーの実施

筑波大学・文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局共催 2019
国際バカロレア教育シンポジウム 10.26 Sat.
テーマ 「IB生のコンピテンシーとキャリアについて」
コングレススクエア 日本橋
東京駅徒歩5分・日本橋駅直結
参加費無料

趣旨
日本では国際バカロレア（IB）認定校が着実に増え、生徒数も増加しています。しかし、IB校を卒業し、大学や社会で活躍している日本人IB生はまだ少なく、IB生がどのようなコンピテンシーを習得し、どのようなキャリアを歩んでいるのか情報が十分ではありません。
本シンポジウムでは、IBを通して得られるコンピテンシーやIB生のキャリアを明らかにし、広く知ってもらうことで、IBの理解・普及に貢献することを目的とします。

対象者
IBに関心がある教育関係者、保護者（先着200名）

プログラム
■受付（12:30～13:00）
■開会の挨拶（13:00～13:10）
犬飼キャロル・ディクソン氏（筑波大学 客員教授）
■第1部：基調講演（13:10～14:20）
「国際バカロレアが育成するコンピテンシー」 渋谷 真樹氏（奈良教育大学 教授）
「海外のIB導入事例からの示唆」 黄丹青氏（目白大学 教授）
■第2部：研究セミナー（14:20～15:00）
文部科学省IB教育推進コンソーシアム
国際バカロレア教育の効果に関する調査研究について
花井 渉氏（大学入試センター 助教）
■第3部：現場の先生方の声（15:10～16:00）
沖縄尚学高等学校の事例 ブースクリ 信子氏（沖縄尚学高等学校 教諭）
東京学芸大学附属国際中等教育学校の事例 杉本 紀子氏（東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭）

主催 筑波大学 University of Tsukuba
共催 文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局
お問い合わせ 筑波大学大学院教育研究科教育学(国際教育) 増子宛
〒305-8572 つくば市天王台1-1-1
E-mail: mashiko.yuji@un.tsukuba.ac.jp
参加申込み 下記URLよりお申込みください。
https://forms.gle/HQwisoAz8mcsMZq99
人数：先着200名 申込締切：10月20日
▼アクセス
http://congres-square.jp/access/
東京都中央区日本橋1丁目3-13 東京建物日本橋ビル

2-1. 国際バカロレア導入を検討する学校等への支援業務

○IB導入校・関心校・自治体へのヒアリング調査・訪問について

自治体（教育委員会等）へのヒアリング訪問ならびにIB啓発セミナーの開催に関する希望調査を行った。都道府県教育委員会は、主にDP導入の対象となる高校を管轄しているが、小学校ならびに中学校におけるPYPやMYPの導入については、市町村区の教育委員会へのアプローチを検討する必要がある。

【ヒアリング希望調査：回答数】

23（47都道府県+20政令指定都市の教育委員会を対象に調査）

【ヒアリング訪問の実施：都道府県教育委員会（5機関）市町村区教育委員会（2機関）】

埼玉県教育委員会（7月18日） 奈良県教育委員会（7月25日） 鳥取県教育委員会（7月31日）
石川県教育委員会（8月22日） 金沢市教育委員会（8月22日） 鹿児島県教育委員会（8月27日）
鹿児島市教育委員会（8月27日）

【ヒアリング訪問の成果】

奈良県、鳥取県、鹿児島県にて教育委員会の後援のもとで、IB地域啓発セミナーを開催（次ページ参照）

○学校・自治体へのIB導入のアプローチについて *右図・フライヤー

今年度は国際バカロレアの導入に関心のある学校・自治体向けのIB導入相談会を下記の通り実施した。次年度以降は、各地域での導入相談会の実施を検討したい。

【イベント】「学校・自治体向けIB導入相談会」

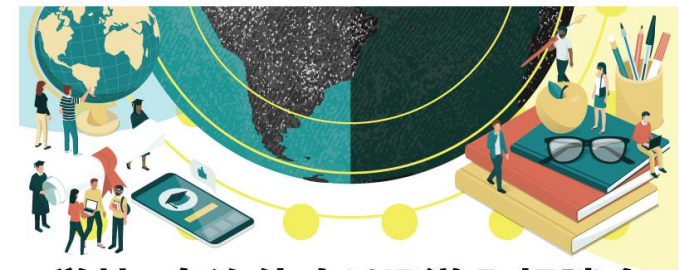
【日時】2020年1月31日（金）15:00～17:00（於：ビジネスブレークスルー大学）

【セッション内容】IB導入のプロセスについての説明／IB認定校による事例共有／質疑応答

*当日はオンラインによる映像配信も行った。

【参加機関】19団体〔内訳：教育委員会3、大学2、学校12、その他2〕

*学校・自治体向けIB導入相談会



学校・自治体向けIB導入相談会

The consultation for introducing IB to school and municipality

2020年1月31日（金）

15:00～17:00

会場：ビジネス・ブレークスルー大学 麹町オフィス1階
（〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア1F）

国際バカロレア教育に関心のある学校や自治体（教育委員会）関係者を対象にIB導入相談会を実施致しますので奮ってご参加ください

セッション1：IB導入プロセスについての説明（国際バカロレア機構 星野あゆみ氏）

セッション2：IB認定校による事例共有

セッション3：質疑応答（質問事項は申込登録と同時に事前提出された質問へ回答）
※開催内容は一部変更される場合がありますのでご了承ください。

【参加申込】 事前申込制（無料）対面型（先着順：25名まで）
※オンラインでの参加も可能予定

お申し込みは下記の内容を含め、メール（consortium.info@aobajapan.jp）、FAX（03-5997-0091）、Web（<https://www.bbi757.com/sv/Enquete/jsp/user/top?id=IB20200131>）のいずれかに登録下さい。
＜申し込み時記入事項：氏名、学校名・機関名、所属・肩書、メールアドレス、参加形態、事前の質問等＞

主催：文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局
協力：ビジネス・ブレークスルー大学
＜本件担当＞文部科学省大臣官房国際課国際協力企画室外国人教育政策係
加藤久乃・富田早紀
＜事務連絡先＞文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局
070-4488-1404（平日10:00～17:00）
E-mail: consortium.info@aobajapan.jp <https://ibconsortium.mext.go.jp>

Web申込フォームはこちら▼



2-2. 国際バカロレア導入を検討する学校等への支援業務

○IB理解促進の啓発活動の実施

国内の国際バカロレア推進の説明ならびに、IB認定校での教育事例、大学でのグローバル人材の受け入れ等をテーマに各地方都市でのIB地域啓発セミナーを開催した。*補足資料2 アンケート集計

奈良（11月23日）*協力：奈良県教育委員会 会場：奈良育英高等学校 参加者数：36名

鳥取（11月25日）*後援：鳥取県教育委員会 会場：倉吉東高等学校 参加者数：90名

鹿児島（12月21日）*後援：鹿児島県教育委員会 会場：鹿児島修学館 参加者数：76名

生徒・保護者向けのIB理解啓発イベントは海外子女教育振興財団主催の学校説明会・相談会にて登壇講演ならびにブースでのIB教育に関する相談を行った。

【名古屋：7/26（金）】個別ブースの設置

【東京：7/30（火）】個別ブースの設置、IB啓発講演の実施（140名程度の生徒・保護者が参加）

*個別ブースでの生徒・保護者からの主な相談内容

（例：IBの概要について／各IBプログラムに関する進路相談／IBスコアを活用した大学入試について）

○学校・自治体向けIB導入相談会の実施

国際バカロレア教育の導入に関心のある学校や自治体（教育委員会）関係者を対象にしたIB導入相談会を実施した。当日は遠方からの参加希望者のためにオンラインによる動画配信も行った。

日時；2020年1月31日（金）15:00-17:00 会場：ビジネス・ブレイクスルー大学

内容：IB導入のプロセスについて、IB認定校による事例共有（東京都立国際高等学校、聖ヨゼフ学園小学校、アオバジャパン・バイリンガルプリスクール）、質疑応答など

*IB地域啓発セミナーの様子



*学校・自治体向けIB導入相談会の様子



2－3．国際バカロレア導入を検討する学校等への支援業務

○学習指導要領とIBカリキュラムの読み替えに係る作業部会の実施

現在は、一条校の国際バカロレアの認定校において DPの一部科目を履修した場合に、学習指導要領上で対応する科目を履修したとみなすことができるようになっている。今回はその代替措置の対象を拡大するために、コンソーシアム事務局にて、学習指導要領とIBカリキュラムの読み替えに係る作業部会を実施を行った。作業部会の結果を踏まえ、文部科学省は国際バカロレアと学習指導要領の双方を無理なく履修できる教育課程の基準の特例を一部改正する告示を12月26日に公布・施行した。

IBDP科目	学習指導要領上の科目等	IBDP科目	学習指導要領上の科目等
ヒストリー	世界史A, B	ケミストリー	化学基礎
ヒストリー(HL)	日本史A, B	バイオロジー	生物基礎
ジオグラフィ	地理A, B	ランゲージB	コミュニケーション英語Ⅰ
マセマティックス:アナリシス・アンド・アプローチズ	数学Ⅰ	ミュージック	音楽Ⅰ
マセマティックス:アプリケーションズ・アンド・インタプリテーション	数学Ⅰ	ヴィジュアル・アーツ	美術Ⅰ
フィジックス	物理基礎	セオリー・オブ・ナレッジ	総合的な探究の時間

告示に列挙されている高等学校学習指導要領上の必履修科目及び総合的な探究の時間とIBDP科目について、下記の基準を満たしている場合には、当該IBDP科目の履修及び修得をもって必履修科目の履修及び修得に代えることができる。

- ① 高等学校学習指導要領に定める内容事項が適切に取り扱われていること。
- ② 生徒の発達の段階並びに内容の系統性及び体系性に配慮がなされていること。
- ③ その他、生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていること。

3-1. ICTプラットフォームの構築・運営業務

○Air Campus®上での情報共有フォーラムの運営

＊PYP、MYP、DP、進路・IB入試、管理職、教員養成、行政
(自治体・教育委員会)に関する情報交換とディスカッションの促進

○ACファシリテーターとの対面型の情報交換会の実施 (年2回程度)

＊シンポジウムやIB理解セミナーに合わせて、対面型の情報交換会を
全国各地で実施していく。(参加者同士のネットワークの促進)

＊ACファシリテーターミーティングの実施 (6月29日 於：東京、11月9日 於：大阪)

議題：AirCampusにおける情報共有の活性化案について

(提案内容：Q&Aトピック、部門別ディスカッションの設定等)

←こちらの案に基づき9月22日にAirCampusの一部リニューアル化

○ACに参加しているコンソーシアム協力校・機関との協力体制の構築

コンソーシアム協力校・機関による連絡協議会の実施

(第1回 9月22日 於：東京 第2回(予定) 2月23日 於：大阪)

＊教育実習の促進・授業見学のコーディネート

＊各学校におけるIB教育実践の共有

*ACファシリテーターミーティングの様子



*第1回コンソーシアム協力校・機関による連絡協議会の様子



3-2. Air Campus®の運用状況 (2020年2月現在)

○個人会員・団体会員の登録状況について (2020年2月5日現在)

個人会員：549名

団体会員：49団体 (内訳：学校－34 大学－6 教育委員会－7 その他－2)

* 個人会員と団体会員を合わせた実登録者数：634名

○Air Campusのコンテンツ

- ・IB教育実践例： 授業動画
- ・インタビュー： 教員、学生へのインタビュー
- ・IB Newsletter： IBに関する最新情報を事務局より
- ・Q&A： 部門ごとによくある質問への回答
- ・マンスリーディスカッション： 対象部門参加者に共通するテーマ (課題)

○各掲示板での質問や情報共有事例 (一部抜粋)

- * 教科横断的な授業実践の見学相談 (PYP)
- * PYP/MYPの学校新設に関する問い合わせ (PYP)
- * 科目ごとに単元例や参考文献や資料を集約するスレッドの提案 (MYP)
- * IBと日本の学習指導要領との接点をどのように考えるか (MYP)
- * DP最終試験の過去問の入手方法について・IBに親和性のある教材推薦 (DP)
- * 各学校での開設されているIB科目の調査方法 (DP)
- * 取得したDP資格の有効期限について (進路)
- * 国際バカロレア入試の導入および入試広報について (進路)
- * 掲示板での情報開示の範囲について (管理職)
- * 管理職経験者のケーススタディの共有 (管理職)
- * 新設するIB教員養成大学への要望 (教員養成)
- * IBコース大学院生としての体験談 (教員養成)
- * 他の自治体でのIB検討・導入状況について (行政)

* Air Campusポータルサイト画面



* インタビュー動画の公開 (AirCampus内)



第3回
IB教員インタビュー



第4回
IB修了生インタビュー

4. シンポジウム等の開催業務

○ I B 普及・促進に係るシンポジウムの実施（年2回）

【第3回国際バカロレア推進シンポジウム開催】（参加者数：223名）

日時：2019年9月22日（日）於：東海大学高輪キャンパス

テーマ「日本国内でのIB導入好事例

学校、自治体で広まる国際バカロレア教育について」

＊PYP, MYP, DPにおける教育実践の紹介・各自治体でのIB導入促進

セッション1：一条校におけるPYP, MYP, DP導入事例紹介

（登壇：聖ヨゼフ学園小学校、市立札幌開成中等教育学校、仙台育英学園高等学校）

セッション2：SGH校からIB校への決意

（登壇：宮城県仙台二華高等学校）

セッション3：自治体における日本語IB導入について

（登壇：札幌市教育委員会、さいたま市教育委員会、広島県教育委員会、高知県教育委員会、香美市教育委員会）

【国際バカロレア教育フォーラム2020開催（予定）】 ＊補足資料3

日時：2020年2月23日（日）於：大阪女学院高等学校

＊主催：文部科学省IB教育推進コンソーシアム、国際バカロレア機構

テーマ「国際バカロレア教育の最新事情～エージェンシーをめぐる議論について」

—IBに関する基調講演

（日本におけるIB教育、公立学校での課題、エージェンシーについて、IB修了生のキャリアパス等）

—廣瀬俊朗氏による特別トークセッション「IB学習者像について」

—教育分科会（最新のIBプログラムや科目の改定等について）

*第3回国際バカロレア推進シンポジウムの様子



*国際バカロレアフォーラム2020案内

第4回 国際バカロレア推進シンポジウム
「国際バカロレア教育フォーラム日本2020」
文部科学省IB教育推進コンソーシアム×国際バカロレア機構

2020年 2月23日(日)
9:30～16:10 (9:00開場)

テーマ
「国際バカロレア教育の最新事情」
～エージェンシーをめぐる議論について～

【会場】 大阪女学院高等学校
〒540-0004 大阪府中央区玉造2丁目26番54号
アクセス: <https://www.osaka-jogakuin.edu.jp/general/about/access.html>

【午前の部】 9:30～12:45
IB教育に関する講演

【午後の部】 13:30～16:10
トークセッション / 教育分科会

【講演1】 日本におけるIB教育とDLDP
プロジェクト報告 (講演者: 星野あゆみ氏、
国際バカロレア機構 アジア太平洋地域 日本担当
地域開発マネージャー)

【講演2】 IB認定校におけるリーダ
シップ: 公立学校での課題 (講演者: ス
チアータ・ジョーンズ氏、国際バカロレア機構
認定校担当部長)

【講演3】 エージェンシーの実現に向
けて: OECDと日本の動向から (講演者: 納
本健太郎氏、東京大学 次世代教育研究
推進機構 講師)

【講演4】 習得した生が語る自分の受
けたIB教育と人生における影響 (講演者
DLDP卒業生(大学生)、DP卒業生(社会人))

【トークセッション】
『IB学習者像
について』
ゲスト: 廣瀬俊朗氏
(ラグビーワールドカップ2019ジャパンサポーター)

【教育分科会セッション】
最新のIB教育プログラムや科
目の改訂などについて学び、
考えるセッション

【参加申込】 事前申込制 (参加費無料)
専用申し込みサイトより参加登録をお願いします。

主催: 文部科学省・国際バカロレア機構
運営: 文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局
協力: 大阪女学院高等学校